

令和元年度 横浜市立都岡中学校 「豊かな心の育成」 推進プラン

学校教育目標 「心豊かな人となれ」

- ・しっかり学び、自分を伸ばそう（知）
 - ◎自己を創る学びと喜びを大切に、可能性を切り拓く生徒を育てます。
- ・豊かな心と責任感を持とう（徳）
 - ◎喜びや哀しみを分かち合い、ともに支え合う生徒を育てます。
- ・たくましい心と体をつくろう（体）
 - ◎自分らしさをいきいきと表現できる生徒を育てます。
 - 身体と心を鍛え、前向きに生きる生徒を育てます。
- ・社会の一員としての自覚を持とう（公・開）
 - ◎人と自然、伝統と文化にふれて学ぶ生徒を育てます。
 - ルールやマナーを守り社会生活を営む生徒を育てます。

生徒の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

- 素直で活発な生徒が多いが、自己有用感、自己肯定感が低く、周囲に流されがちになる傾向もある。
- 横浜市学習状況調査の生活意識調査を見ても、家庭学習の習慣がついていない生徒が多く、学習を通じて充実感や達成感を味わうことができない生徒が多い。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- 「我が子、我が孫を通わせたい学校」を目指し、「もう一步丁寧で、もう一步親切な指導」を土台とした指導の充実に努める。
- 学校目標である「心豊かな人」は「豊かな心、健やかな体、確かな学力」を兼ね備えた人であると捉え、地域と学校が協力して学びと生活の質を向上させ、相乗効果で指導していく。
- 基礎学力の定着、言語力の向上をもとに、自分自身の未来を自信を持って語れる生徒の育成をめざす。

指針1 「道徳の時間」の充実

【視点1】 要となる「道徳の時間」の指導

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り担任の個性を生かしつつも、統一した道徳教育の充実をはかる。

【視点2】 児童・生徒にとって魅力的な教材

- ・教科書「新しい道徳」をもとに、視野を広く持ち多面的・多角的な指導を探求する。

指針2 体験活動の充実

【視点3】 望ましい集団活動

- ・生徒会を中心とした委員会活動を活性化し、自治能力の育成と集団の質の向上をはかる。

【視点4】 発達段階と照らした課題の位置づけ

- ・1年「遠足」2年「自然教室」3年「修学旅行」の校外活動を通し、集団の一員として進んで人間関係を築いていこうとする自主性、他を思いやる協調性を育てる。
- ・体育祭、合唱コンクールへの取組を通じて、集団で作り上げる喜びを味わうとともに、学年を越えてお互いを支え合う心を学ぶ。

【視点5】 環境教育の充実

- ・現在定着している毎週月曜日のゴミの分別を、学級内で徹底できるよう継続指導する。
- ・PTAとのタイアップで花壇の手入れをし、学校環境作りの一端を担う。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

【視点6】 人権教育の充実

- ・生徒の現状を踏まえた、人権講演会（ワークショップ）を企画運営する。

【視点7】 子どもの社会的スキルの育成と安全・安心な学級・学校風土の醸成

- ・Y-P アセスメントを含む子どもの社会的スキル横浜プログラムを活用し、子どもの社会性を育成するとともに、学級課題の改善や子ども個人の課題の改善にむけての校内指導体制を整える。

【視点8】 特別支援教育の充実

- ・支援を必要とする生徒が安心して支援を受けられるように状況を把握し、ニーズにそった指導計画のもと推進する。

指針4 豊かな感性や情操の育成

【視点11】 豊かな感性・情操を育む読書活動の充実

- ・図書館司書と連携し、全校生徒のより豊かな読書体験のために図書館環境を整える。